

平成23年産麦の検査結果(富山)
(平成23年12月31日現在)

1 検査概況

平成23年産麦の検査数量は7,178トンで対前年同期比91.7%になっています。
普通小粒大麦の1等比率は75.0%で、前年同期比6.6ポイント低くなっています。

(1) 検査数量

(単位:トン、%)

区分	23年産	22年産	対前年同期比
普通小麦	51	63	81.0%
普通小粒大麦	6,866	7,521	91.3%
普通大粒大麦	0	3	5.1%
普通はだか麦			
ビール大麦	1	8	12.5%
種子用麦	260	230	113.0%
合計	7,178	7,825	91.7%

(2) 等級比率

(単位:%)

区分	23年産				22年産			
	1等	2等	等外上	規格外	1等	2等	等外上	規格外
普通小麦	100.0				96.0	4.0		
普通小粒大麦	75.0	0.5		24.4	81.6	0.8		17.6
普通大粒大麦				100.0				100.0
普通はだか麦								
ビール大麦		100.0				100.0		

2 品種別検査数量及び等級比率

(単位:トン、%)

区分	品種名	検査数量	1等	2等	等外上	規格外	合格
普通小麦	ゆきちから	50	100.0%				
	その他	1	100.0%				
普通小粒大麦	ファイバースノウ	6,866	75.0%	0.5%		24.4%	
普通大粒大麦	その他	0				100.0%	
普通はだか麦							
ビール大麦	その他	1		100.0%			

(注1) 検査数量及び等級比率において、ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合があります。

(注2) 表中の22年産の数字は前年産同期のものです。